

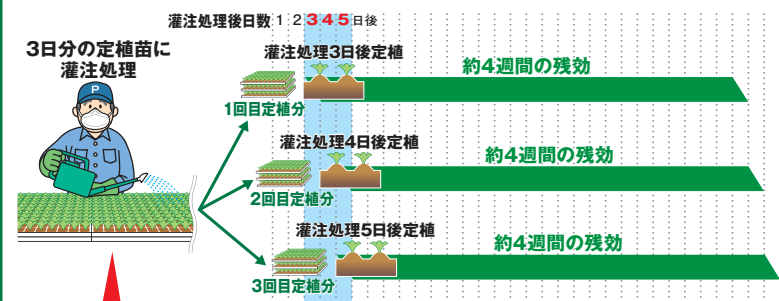
【上手な処理方法】キャベツの場合



抵抗性回避のため、系統の違う殺虫剤とのローテーション防除を徹底してください。

定植前の灌注処理で約4週間の効果

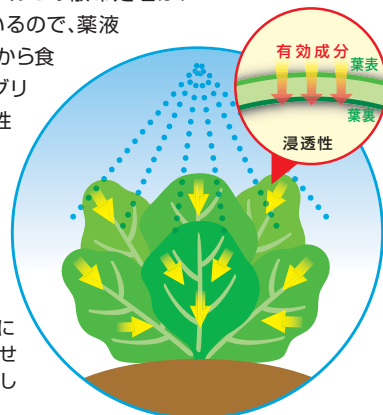
- ① 根からたっぷり吸収させる
- ② 展着剤は入れない
- ③ 定植5～3日前の処理が効果的!
- ④ 適度な水分を含んだ培土で処理



灌水作業が3日に1度で済みますので、その後の作業に余裕が生まれます。

収穫前は散布処理で約2週間の効果

プレバゾン®フロアブル5の散布処理は、「浸透性」に優れているので、薬液のかけにくい葉裏から食害する害虫や、ハモグリバエのような潜葉性害虫を効果的に防除します。



展着剤を入れましょう
散布処理の際は十分に薬液を作物に付着させる為に展着剤を加用してください。

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ① 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬液が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用の場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

グループ	28	殺虫剤
------	----	-----

殺虫剤抵抗性管理 (IRM)

一般推奨事項: 薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、プレバゾン®フロアブル5または他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーション使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通して適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
 (1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト (<http://www.ircac-online.org>)
 (2) デュボン株式会社ウェブサイト「デュボン 抵抗性」で検索

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

野菜・畑作用殺虫剤

プレバゾン®フロアブル5

powered by RYNAXYPYR®

品質と収量の安定は、健全な苗から。

■プレバソン®フロアブル5の適用害虫と使用方法

2017年11月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロナトリニグロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ネキリムシ類 カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類	500倍	苗地床1㎡当り2ℓ				
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウワバ類 オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
かぶ							3回以内
非結球あぶらな科 葉菜類 (タアサイを除く)	コナガ				2回以内		2回以内
タアサイ	オオタバコガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
あすっこ	アオムシ						1回
アマランサス (莖葉)	シロオビノメイガ						3回以内
なばな	アオムシ ハスモンヨトウ				3回以内		4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
だいこん	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで		散布	3回以内
はつかだいこん	ハモグリバエ類				1回		1回
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
はなっこりー	アオムシ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類	1000~2000倍					
非結球レタス	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ヒメフタテンヨコバイ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロナトリニグロールを含む農薬の総使用回数
トマト	ハモグリバエ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
	オオタバコガ	2000倍					
ミニトマト	ハモグリバエ類	100倍	1株当り25ml	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	コナジラミ類	200倍	1株当り50ml				
	コナジラミ類	100倍	1株当り25ml				
なす	ハモグリバエ類	2000倍	1株当り50ml	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は2回以内)
	ハモグリバエ類	1000~2000倍	1株当り25ml				
とうがらし類	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ピーマン	ハスモンヨトウ コナジラミ類	1000~2000倍					
きゅうり	ハスモンヨトウ コナジラミ類	100倍	1株当り25ml	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)
	ハモグリバエ類	100~200倍	1株当り50ml				
ズッキーニ	ハモグリバエ類	1000倍		収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1回以内、 散布は3回以内)
メロン すいか	オオタバコガ ハモグリバエ類		100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内
とうがん	ハスモンヨトウ	2000倍					
いちご	ハスモンヨトウ			収穫7日前まで	1回		2回以内
パセリ				収穫3日前まで	3回以内		1回
らっきょう	ハモグリバエ類			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
ねぎ	シロイチモジヨトウ ネギコガ ハモグリバエ類		セル成型育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5~4ℓ)当り0.5ℓ	育苗期後半~定植当日	1回	灌注	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
	ハモグリバエ類	100倍					
いんげんまめ	ハスモンヨトウ		100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
えだまめ	オオタバコガ ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ	4000倍					
だいず	ハスモンヨトウ マメシクイガ ウコンノメイガ	16~32倍	0.8ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	無人 ヘリコプター による散布	2回以内
未成熟そらまめ	ハモグリバエ類	1000~2000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
さやいんげん 実えんどう さやえんどう	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000倍		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
やまのいも	ハスモンヨトウ ナガイモコガ			収穫3日前まで	3回以内		3回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	2000~4000倍 4000倍		収穫前日まで	3回以内		3回以内
さといも アスバラガス ほうれんそう			100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
モロヘイヤ	ハスモンヨトウ						
バジル しそ				収穫3日前まで	3回以内		3回以内
えごま(葉) ふき				収穫14日前まで	2回以内		2回以内
クレソン (土耕栽培)	コナガ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
ごま	オオタバコガ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
オクラ	オオタバコガ ハスモンヨトウ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
しょうが	ハスモンヨトウ			収穫前日まで	3回以内		3回以内
たばこ	ヨトウムシ		100~180ℓ/10a	収穫10日前まで	2回以内		2回以内